

## ～SDGs～

### 11 住み続けられるまちづくりを

#### ～研究目的～

安心して暮らせる地球環境や人々の雇用を生み出すために持続可能な社会・環境づくりをすること

#### ～計画・内容～

1. 現状把握  
環境問題と製品開発の関係性を知る
2. 商品開発案  
藍を使った石鹸作りを提案
3. インタビュー  
協力してくださる農家の方と企業の方に農業の現状について
4. 原料調達  
藍を農家から企業へ
5. 商品づくり  
成分調査、デザイン案  
↓ 売り出すために.....  
ストーリー性のある背景・クラウドファンディングを活用
6. シュミレーション  
目的にあっているかなど

#### ～評価基準～

地域完結型事業にすること、持続可能な商品開発であったか

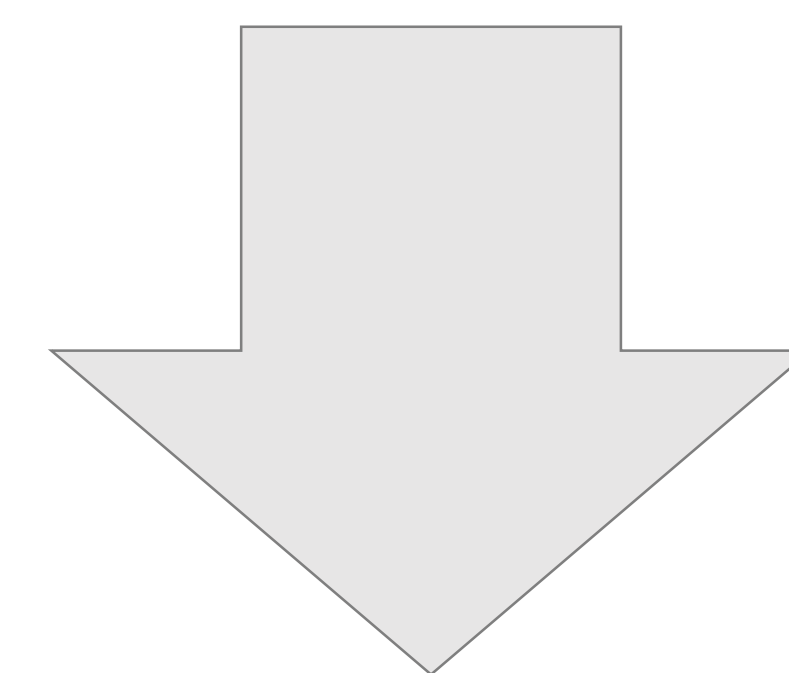
住み続けられるまちづくりを実現するためにまず規模の小さい地方をターゲットとした地域完結型事業にすることで持続可能な社会をつくる取り組みに注目

#### ～理由～

いま使われている商品が本当に良いのか調べたところすべてのものが決して人にも環境にもいいものであるとは言えなかった。そのため生活に欠かせないものは、持続的に使われていく商品は人にも自然にも経済にも優しいものであって欲しいため。

#### ～農業の現状～

- ・ 薬品を使って安く販売
- ・ 無駄が多い
- ・ 後継者不足
- ・ 収入不安定

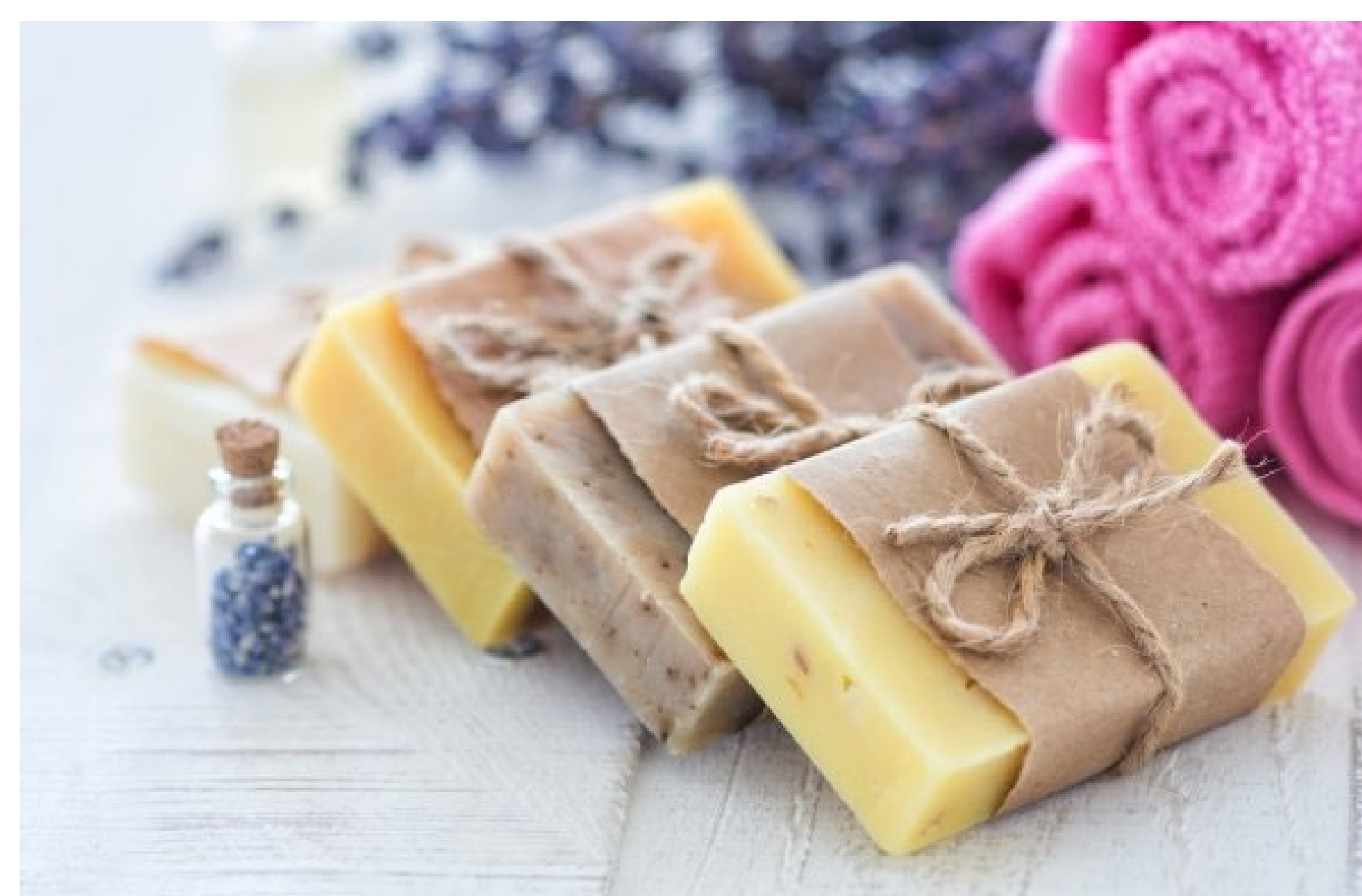


#### ～改善案～

- ・ 環境にやさしいものを選ぶ
- ・ 残渣などを使う
- ・ 雇用を生む

#### ～事例～

地方でのオーガニック商品生産女性や障害のある方の雇用  
持続可能な商品づくり  
スクール事業

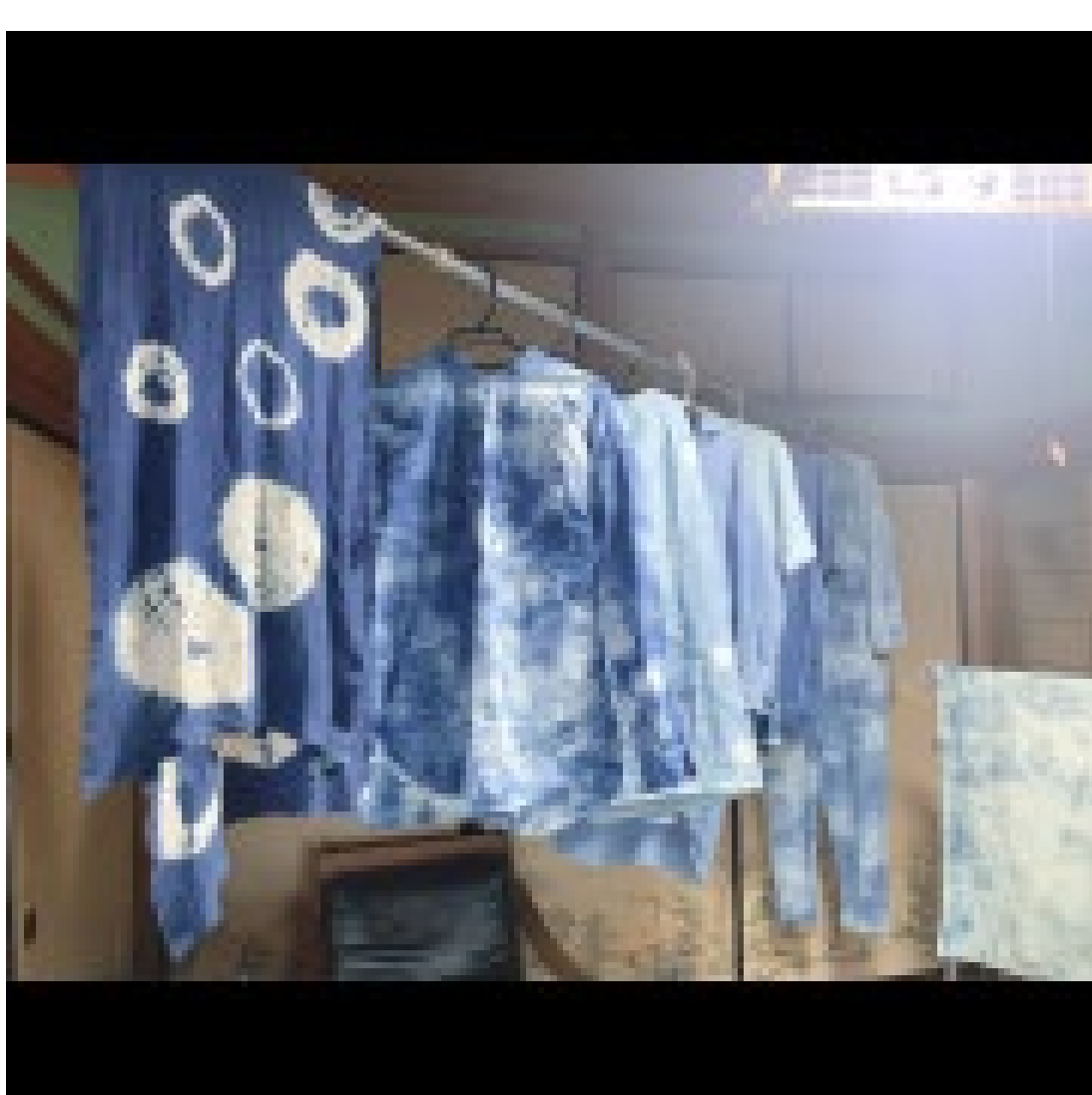


#### ～成果～

環境や農業の現状を知り、自分たちで改善案を考え、それに合った商品案を提案し、実現できた

#### ～今後の課題～

少しでも環境を配慮するため商品のパッケージに再生可能な素材を考える  
後継者存続のために収入源である原料を定期的買い、農家さんの収入の安定を目指す



#### ～まとめ～

現在の農家の課題を知り、改善案を自分たちで考え、実現可能な商品開発案を提案できた。今後は、シュミレーションを繰り返し、目的に合っているか確認しながら実際に商品として売り出せるようより良く改善していく予定